



2025年1月23日

食品産業新聞に

取材記事が掲載されました。

～日本酒の新規ファン獲得へ～

フレッシュな酒など魅力を発信



キクブランドウー

代表取締役社長

菊田 壮泰 氏

組んでおり、楽しみにしてほしい。

また、「国際発酵・醸造食品産業展」などの展示会にも積極的に参加した。最近では、酒蔵だけでなく酒販

店や飲食店といったエンドユーザーと直接話す機会を得るなど、日本酒の未来に

向けて共感が広がっていると感じる。

——業績面はいかがですか。21年の社長就任以来、売上高は増加している。ただ、コロナ禍で落ち込んでいた設備関連の需要が回復して

いることが大きい。自社でできた。圧搾機からお酒が

ランドKPDシリーズに搾り出された瞬間から、瓶工場と倉庫を併設する八木産に登録されたことは、日

つたわけではなく、減少しての工程でお酒を優しく扱った。これにより、製品の内製ず追い風になるだろう。

た製品もある。営業面におうことで、酒蔵でしか味わえなかったフレッシュな風味を最大限引き出すもの

——KPDブランドのヒ酒造機器の機能強化に取

——25年の抱負を。

い若い世代や女性、海外の方々に興味を持ってもら

えと思う。そのときに、お

い方や、少し苦手だが興味

があるから飲んでみたいと

# 日本酒の新規ファン獲得へ フレッシュな酒など魅力を発信

昨年、自走してチャレン  
シする組織の土台ができた  
ので、今年はお客様や業界  
へ「行動」に力を注ぐ年  
にしたい。

昨年12月に「伝統的酒造

えと思う。そのときに、お  
い方や、少し苦手だが興味  
があるから飲んでみたいと  
お酒づくりに貢献したい。

また、「国際発酵・醸造食  
品産業展」などの展示会  
にも積極的に参加した。最  
近では、酒蔵だけでなく酒  
販店や飲食店といったエン  
ドユーザーと直接話す機  
会を得るなど、日本酒の未  
来に向けて共感が広がって  
いると感じる。



本社と工場のモニター越しに女性スタッフがミーティング

——持続可能な業界の  
発展に向けて、日本酒が  
おもしろい」と新規参入が  
増える。彼らとパートナー  
シップを組み情報を提供す  
ることも、業界の役割では  
ないが、日本酒業界を盛り  
上げる取り組みを続けてい  
きたい。

——25年の抱負を。